



写真が語る、いのちのバトンリレー ～地域で考える看取りについて～

國森 康弘 氏 (写真家・フォトジャーナリスト)

1974年生まれ。神戸新聞社記者を経てイラク戦争を機に独立。イラク、ソマリア、スーダン、ウガンダ、ブルキナファソ、ケニア、カンボジアなどの紛争地や経済貧困地域を回り、国内では、戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者たちの取材を重ねてきた。命の有限性と継承性がテーマ。近年では滋賀県東近江市永源寺地域をはじめ滋賀県や東北被災地、東京などで看取り、在宅医療、地域まるごとケアの撮影に力を入れている。

京都大経済学研究科修士課程修了、英カーディフ大ジャーナリズム学部修士課程修了。



(出典) 写真絵本『いのちつぐ「みとりびと」』（農文協、現12巻）の第1巻『恋ちゃんはじめての看取り』

【ご本人からのメッセージ】

イラクやソマリア、スーダンといった紛争地の「冷たい死」、東日本大震災など被災地での「悲しい死」を数多く取材する一方、在宅医療の看取りの現場で「あたたかい死」をも撮るようになりました。命は有限でありながらも、その死に際して、生き抜いてきた生命力と愛情という「いのちのバトン」を、残る者に手渡し得るのだと。「冷たい死」、「悲しい死」、「あたたかい死」——。数々のエピソードと写真スライドを通して、命の重みと「いのちのバトンリレー」について共有できればと思います。

日時：平成30年2月21日(水) 14:00～16:00 (13:30 開場)

会場：京都社会福祉会館 4階ホール

(地下鉄東西線二条城前駅下車 1番出口を北に徒歩6分)

○入場無料、関心のある方はどなたでもご参加ください。

○お申込みはファックス、電話、メールでお願いします。

ただし、先着200名様で締め切らせていただきます。

社会福祉法人 京都福祉サービス協会 人材研修センター
TEL 075-823-3341 FAX 075-823-3349
メール jinzai-kaihatsu@kyoto-fukushi.org



F A X 送信票

F A X : 0 7 5 - 8 2 3 - 3 3 4 9

(福) 京都福祉サービス協会 主催 一般公開講座

「写真が語るいのちのバトンリレー～地域で考える看取りについて」申込書

事業所・施設・団体名など

()

【ご連絡先 TEL】 - -

【ご連絡先 FAX】 - -

| ご参加者氏名 | 職種など | 備考欄 |
|--------|------|-----|
| 様 | | |
| 様 | | |
| 様 | | |
| 様 | | |
| 様 | | |
| 様 | | |
| 様 | | |

※ 2月16日(金)までにお申し込みをお願いいたします。

※ ご参加者氏名欄が足りない場合は、別紙にご記入ください。

(但し、会場都合により、定員(200名)に達し次第、締め切らせていただきます。)

お問合せ先：(福) 京都福祉サービス協会 人材研修センター〈担当：北尾〉

〒602-8143 京都市上京区猪熊通丸太町下る中之町519 京都社会福祉会館3階

電話：075-823-3341 ファックス：075-823-3349